



Pop-up Card

かわさき区の宝物 臨海部・キングスカイフロントの風景

かわさき区の宝物 ペーパークラフト

「臨海部・キングスカイフロントの風景」 がポップアップカードになりました。

川崎市の臨海部地域は、近代以降、ものづくり企業や工場が集積する地域として日本の高度経済成長を支えてきました。

近年は、ライフサイエンス・環境分野の世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」の形成を進めており、この国際戦略拠点は、2011年3月に「キングスカイフロント(KING SKYFRONT)」と名付けられました。

「KING」は「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と「殿町」の地名に由来したもので、キングスカイフロントが日本の成長を牽引し、世界の持続的な発展に貢献する拠点であるという意味がこめられています。

このポップアップカードでは、キングスカイフロントを特徴付ける研究施設だけでなく、交通の利便性にも注目し、現在建設中の(仮称)羽田連絡道路や、対岸の羽田空港から飛び立つ航空機も素材として取り入れました。

また、キングスカイフロントが臨む多摩川には、多くの生き物が生息しています。その生き物もぜひポップアップさせて楽しみながら製作してください。

LiSE (川崎生命科学・環境研究センター)

市の研究施設である「川崎環境総合研究所」や「川崎市健康安全研究所」等の公共施設をはじめ、先端技術を有する研究機関・企業等の民間施設が入居した地上4階、塔屋1階の複合施設です。

iCONM (ナノ医療イノベーションセンター)

難治がんやアルツハイマー病などの難病治療に革新をもたらす「ナノ医療」の実現に向けて、大学・企業・研究機関が最先端の実験機器などを活用し、共同で研究開発に取り組む新たな拠点です。

(仮称) 羽田連絡道路

キングスカイフロントと羽田空港を結び、多摩川を渡る新しい橋の整備を進めています。この橋により、キングスカイフロントから車、徒歩、自転車などで羽田空港にアクセスできるようになります。

多摩川の生き物

アシハラガニ、ヤマトシジミ、コサギ、アユ以外にも、アカテガニやテナガエビ、ユリカモメ、オナガガモなどたくさんの生き物が住んでいます。



企画：川崎区企業市民交流事業推進委員会
 協力：全日本空輸株式会社
 日本経済新聞社
 川崎市臨海部国際戦略本部
 川崎市環境局環境総合研究所
 川崎市建設緑政局広域道路整備室
 発行：川崎市川崎区役所
 問い合わせ先：川崎区役所地域振興課
 電話 044-201-3127 FAX 044-201-3209